



# 学校だより

令和4年7月1日

7月号

学校教育目標  
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



## 「人との関わりの中で」

校長 加藤 智敏

「皆さんもできることから始めてみませんか？」

「一人一人の行動が増えていくと、自分も相手も笑顔になり、お互いが住みやすくなると思うのです。」

南区のスピーチコンテストが6月23日に南公会堂で行われました。本校からは6年2組の赤羽綾華さんが学校代表として参加し、『手と手を取り合って生きる世界』のタイトルでスピーチを行いました。見事、最優秀賞を獲得。南区の代表として7月21日に行われる国際平和スピーチコンテストの本選に参加することになりました。

赤羽さんのスピーチで何より嬉しかったのは、高い評価を受けた表現力だけでなく、人との関わり大切さを、クラスや学年の仲間と話し合い、体験を通して考えられていたこと、また、人の営みについて寄り添って考え、学びを深めていたことです。関わりの中で学ぶこと、まさに本校で大切にしている学びの姿であると言えます。

ある時、本校のスクールサポーターの小林様からも次のような話をうかがいました。本校の児童が、道端で座り込んでしまっていた高齢の方を見付け、近くにいた大人を頼って無事その方を帰宅させたという話です。見知らぬ方に声を掛けることや、自分より体の大きな大人を救助することには勇気が必要です。しかし、その児童が周りの大人を頼ることができたことは、まさに地域への安心感、地域の中での豊かな関わりがあったからこそだと思います。地域の皆様、保護者の皆様との温かい関わりの中で子どもたちは育っています。心より感謝申し上げます。今後も学校で学んだことをきっかけに、家庭と連携して定着を図り、地域で活用できるよう育てて参ります。子どもたちの学びを是非ご支援ください。

第1回学校運営協議会が6月21日に開催されました。協議会委員として豊田会長、茅野副会長、四方田副会長をはじめ13名の方に委嘱させていただきました。委員の皆様には、子どもと教職員の資質能力の向上、全員参画型の学校運営を目指す本年度の学校経営について、また、それを支える重点的な取組や今の子どもたちの様子、学校の予算等についてご説明させていただきました。委員の皆様からも子どもたちへのさらなる支援の強化、また、学校経営への参画、教育活動へのご協力についてお話をいただきました。共に学校経営を推進してくださるお気持ちが本当に心強く、私たちも気持ち新たに邁進していきたいと感じた時間でした。本当にありがとうございました。

感染症もまだまだ予断を許さぬ状況ですが、教育活動も少しずつ学校に戻って参りました。皆様のお力をお借りしながら、子どもたちのために人が集える学校を目指して参ります。保護者の皆様、地域の皆様、そして、関係諸機関の皆様におかれましては、今後とも子どもたちに豊かな関わりをいただけますようお願い申し上げます。